

ご紹介いただきました県知事の溝口でございます。

一言、山陰道の高速道路のネットワークを早く進めていただきたいという立場からお話させていただきます。

国において、人口減少問題に対応するため、地方創生を進めておられますが、地方のこうした取り組みを力強く進めるうえで、高速道路ネットワークは不可欠でございます。

そうした中で、本日は県西部の高速道路の早期完成を願い、多くの皆様方においでいただきました。

関係の市長と、市議会議長、県議会からは議長をはじめ、多くの議員の方々、国交省からは中国地方整備局福田道路部長、また、大田と益田の商工会議所会頭、萩市役所の幹部の方々、山陰道の早期完成を支援されてきている女性応援団の皆様、本当に多くの方々に参加していただき、誠にありがとうございます。

こうした大勢の人が、国に対していろいろとお話をする、お願いをする、これが非常に大切なことだというように考えています。

さて、島根県では、すでに開通した尾道松江線や山陰道の沿線では、企業の進出でありますとか、観光客の増加などの効果が現れてきております。これが地域の活性化にも繋がっていると思っております。

しかし、県内の山陰道の供用率は、今年度開通する予定の区間を含めても7割弱という状況であり、また、事業化されていない区間も、まだ残っております。

事業中の区間の一日も早い開通はもとより、未事業化区間の早期事業化、特に優先区間となりました「須子・田万川間」を含む、山口県と島根県を結ぶ「益田～萩間」の早期事業化が望まれるところでございます。

また、4月には島根県西部で大きな地震がありました。こうした問題、国土の強靱化に向けた防災・減災対策は島根県では喫緊の課題でございます。

さらに今年7月豪雨では、山陽道や中国自動車道が通行止めとなり、多くの大型トラックなどが山陽から山陰方面に迂回して来られました。

引き続き、県内の市町村の皆様方、そしてまた、鳥取県・山口県の両県と一緒になりまして、山陰道の早期全線開通を、国に強く訴えていく考えでございます。

終わりになりますが、本日お集まりの皆様方の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げまして、私からのご挨拶と致します。